

## 札幌市 水コン協と災害協定 災害時の対応力強化へ



吉岡副市長（右）と佐藤  
支部長が協定締結

札幌市は7日、一般社団法人全国上下水道コンサルタント協会（水コン協）北海道支部と「災害時における下水道技術支援協力に関する協定」を締結した。技術支援協力に関する協定締結は道内初。

同市は近年激甚化する地震等の自然災害に備えるため、これまで関係団体と災害時における下水道施設を対象とした支援協定を締結してきた。今回の協定締結によって、災害時の対応力強化を図り、被害拡大防止や下水道施設の早期復旧に努める。

協定の内容は、札幌市が管理する下水道施設が被災した場合等における水コン協北海道支部会員

企業による被害状況の調査や応急復旧、災害査定資料作成などの業務に関する技術支援協力。

7日に行われた締結式

で同市の吉岡亨副市長は「いつ災害が起こるか分からない中、協定締結できたことは大変心強い。市民の安心安全にとって有意義な協定となるよう取り組んでいきたい」。

水コン協北海道支部の佐藤謙二支部長は「昨年4月の熊本地震で協会として初めて自治体との間で協定に基づく支援活動を行った。また、3月の理事会で災害時の活動に関する規定を改正し、会員と協会との連携、役割分担などを明確化した。これまで培ってきた技術や経験を活かし、責務を果たしたい」と語り、2者の今後の連携に期待を込めた。